



校區別 アクションプラン

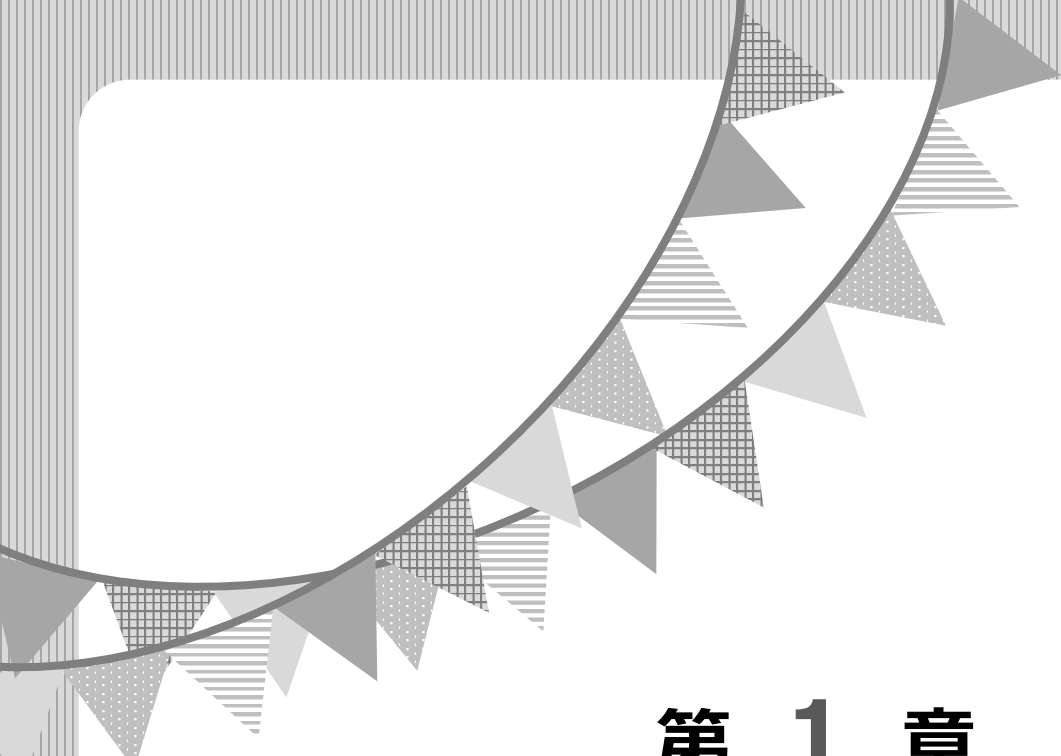
令和4～7年度

令和4年3月
尾張旭市・尾張旭市社会福祉協議会



目次

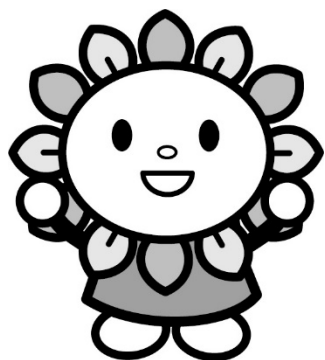
第1章 計画策定にあたって.....	1
1 計画策定の背景と目的.....	2
2 計画の位置づけと計画期間.....	2
3 校区懇談会の開催概要.....	3
第2章 校区別アクションプラン.....	5
1 旭小学校区.....	6
2 東栄小学校区.....	10
3 渋川小学校区.....	14
4 本地原小学校区.....	18
5 城山小学校区.....	22
6 白鳳小学校区.....	26
7 瑞鳳小学校区.....	30
8 旭丘小学校区.....	34
9 三郷小学校区.....	38



第 1 章

計画策定に あたって

.....



第1章では校区别アクションプランとはどのような計画なのかなど、計画の前提となることを説明しています。

- 1 計画策定の背景と目的
- 2 計画の位置づけと計画期間
- 3 校区懇談会の開催概要

1

計画策定の背景と目的

尾張旭市（以下、「本市」という。）には9つの小学校区がありますが、地域課題や地域資源、地域活動等の状況が異なっています。これまで、本市では各小学校区において、校区社会福祉推進協議会（以下、「校区社協」という。）が中心となり、地域福祉活動を推進してきました。

本市では、平成28年に行政の「第3期地域福祉計画」と尾張旭市社会福祉協議会（以下、「社協」という。）の「第4次地域福祉活動計画」を一体とした「尾張旭市地域福祉計画」（以下、「前回計画」という。）を策定しました。その中では、平成28年度からの5年間で各小学校区のめざす姿やそのために地域で取り組むことを定めた「校区別アクションプラン」も策定し、各小学校区において地域福祉を推進してきました。

令和2年度には、前回計画の計画期間が満了したため、社会潮流や本市の課題、前回計画の進捗状況等を踏まえ、令和7年度までの5年間の地域福祉施策の方向性を示す新たな「尾張旭市地域福祉計画」を定めました。

これらを受け、各小学校区の課題や平成28年に策定した「校区別アクションプラン」の進捗状況等を踏まえ、令和4年度から令和7年度の4年間の計画期間とする新たな「校区別アクションプラン」を策定します。

2

計画の位置づけと計画期間

「校区別アクションプラン」は、「尾張旭市地域福祉計画」の一部として位置づけます。

また、「校区別アクションプラン」は、令和4年度から令和7年度の4年間の計画期間とします。

■「尾張旭市地域福祉計画」の計画期間

年度	H28	H29	H30	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
地域福祉計画 (行政)	第3期地域福祉計画・ 第4次地域福祉活動計画 (H28～R 2)					第4期地域福祉計画・ 第5次地域福祉活動計画 (R 3～R 7)				
地域福祉活動計画 (社協)										
校区別 アクションプラン	校区別アクションプラン (H28～R 3)					校区別アクションプラン (R 4～R 7)				

※平成28年に策定した「校区別アクションプラン」は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、校区懇談会を開催することができなかったことから、計画期間を1年間延長しました。

3 校区懇談会の開催概要

これまで本市では小学校区ごとに校区懇談会を開催し、「校区別アクションプラン」の策定や推進、進捗評価を行ってきました。

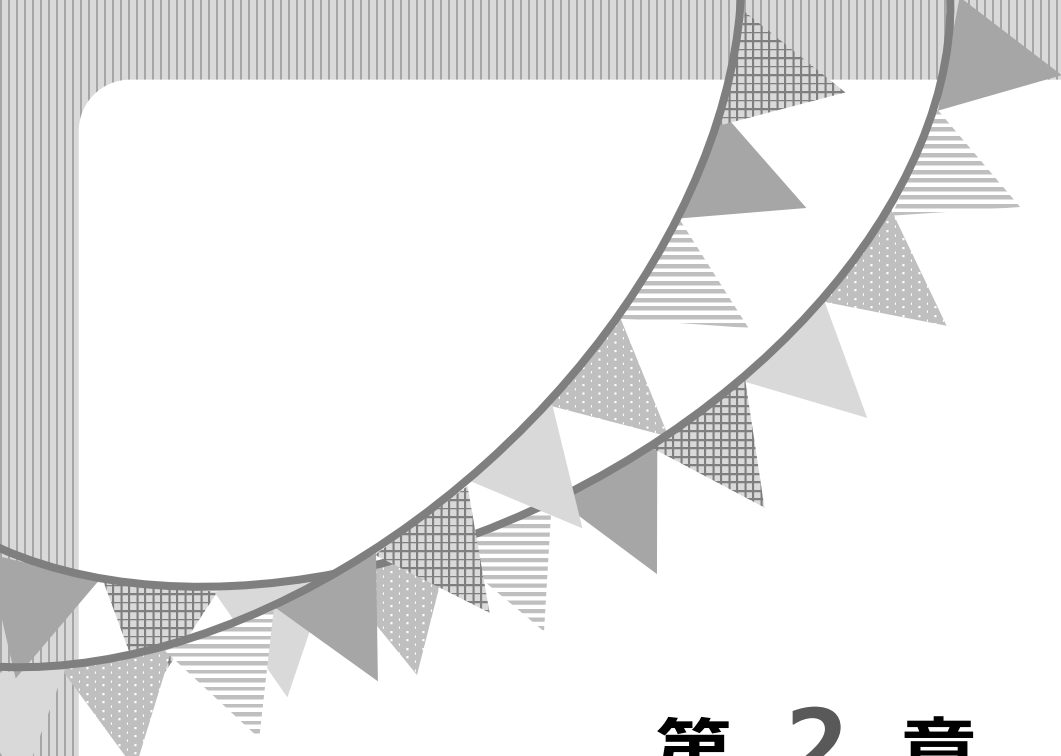
このたびの「校区別アクションプラン」の策定においても校区懇談会を開催し、平成 28 年に策定した「校区別アクションプラン」の検証や地域課題の確認を行った上で、「校区のめざす姿」や「そのために、地域でできること」の取り組みについて見直しや再設定を行いました。

■校区懇談会の実施概要

項目	内容
1. 開会・進め方の説明	○ 校区懇談会の開催趣旨や進め方について説明しました。
2. グループ検討	○ グループごとに、今後 4 年間で新たにありたいと思う取り組みや改善したほうがよいと思う取り組み等を付箋へ記入し、一人ずつ発表しました。 ○ 付箋へ記入した内容や発表した内容を新たな「校区別アクションプラン」へ反映するかどうか、意見交換を行いました。 ○ 新たな「校区別アクションプラン」の中で、重要だと思われる取り組みに一人ずつシールを貼り、重点的に取り組むことを決定しました。
3. 結果発表・共有	○ 各グループで検討した内容を代表者が発表しました。
4. 総括・閉会	○ 社協地域福祉事業アドバイザーの愛知県立大学 松宮朝准教授より、各グループでの検討・発表に対する総括をいただきました。

■校区懇談会の様子



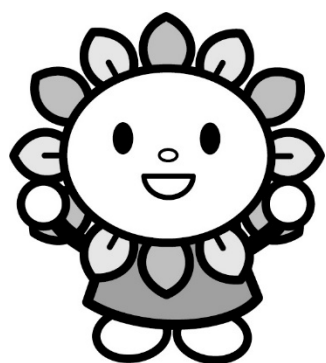


第 2 章

校 区 別

ア ク シ ョ ン プ ラ ン

.....



第2章では具体的に各校区のめざす姿や地域で取り組むことを説明します。

- 1 旭小学校区
- 2 東栄小学校区
- 3 渋川小学校区
- 4 本地原小学校区
- 5 城山小学校区
- 6 白鳳小学校区
- 7 瑞鳳小学校区
- 8 旭丘小学校区
- 9 三郷小学校区

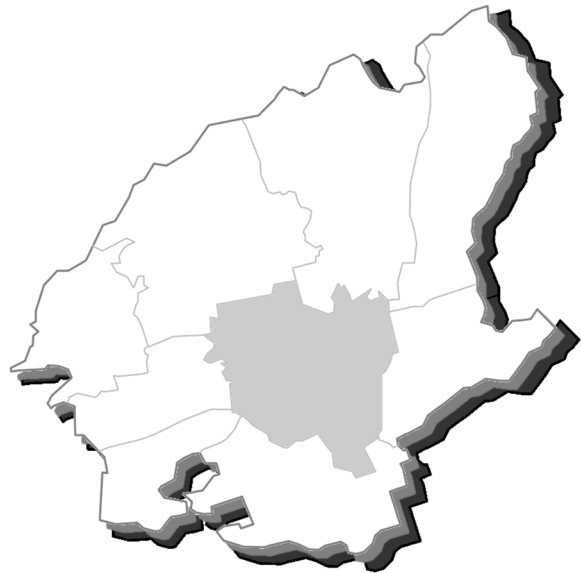
1

旭小学校区



小学校区の概況

旭小学校区は、市の中心部にあり、市役所や図書館、郵便局、文化会館等、行政機能が集積されています。一方で、南部では長閑な田園が広がっており、都市部と自然が共存した環境となっています。



■旭小学校区の総人口等の推移

	平成 27 年	令和 2 年
総人口	8,683 人	8,970 人
高齢化率	25.5 %	26.1 %
年少人口割合	12.9 %	13.3 %

資料：平成 27 年…住民基本台帳（6 月 1 日現在）、令和 2 年…住民基本台帳（3 月 31 日現在）

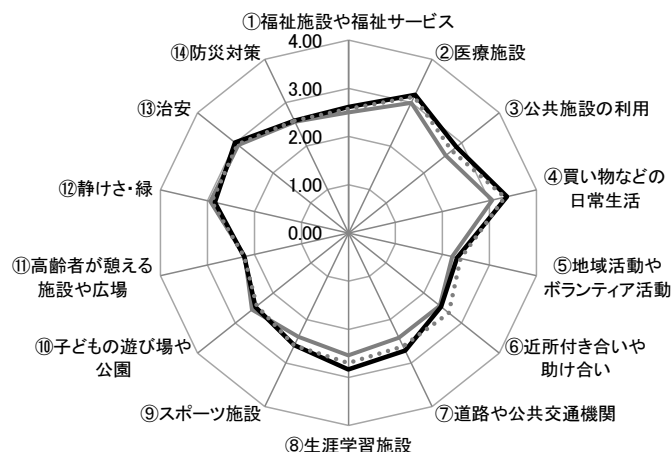


現状と課題



アンケート調査結果からみる現状

- 市全体と比較して、おおむね満足度が高くなっています。
- 項目でみると、「②医療施設」「③公共施設の利用」「⑦道路や公共交通機関」「⑧生涯学習施設」の 4 項目が市全体の中で最高得点となっている一方で、「⑩子どもの遊び場や公園」「⑫静けさ・緑」は市全体の平均を下回っています。
- 平成 28 年と比較すると、「③公共施設の利用」「⑦道路や公共交通機関」「⑧生涯学習施設」等で得点が増加している一方、「⑥近所付き合いや助け合い」等で減少しています。



※設問の 4 つの選択肢を次のように点数化しています。「不明・無回答」を除く回答件数で除した、加重平均で平均値を算出しました。

区分	点数
そう思う	4
どちらかといえばそう思う	3
あまりそうは思わない	2
まったく思わない	1

— 市全体
— 旭小学校区 (R2)
..... 旭小学校区 (H28)



これまでの取り組みの状況

前回計画で定めた「校区のめざす姿」を達成するための、「そのために、地域でできること」の取り組みの状況は以下のとおりです。「★」は、前回計画で重点的に取り組んできた事業です。

校区のめざす姿 1

『いきいきと笑顔で暮らす高齢者の多い 旭』

■これまでの取り組みの状況

そのために、地域でできること		取り組みの状況
★高齢者版“見守り隊”の結成に向けた仕組みをつくりまします。	⇒	○「声かけ隊」を編成し、高齢者世帯を訪問して声かけを実施した。
★認知症についての講習会の担い手を育成します。	⇒	○家庭介護教室を開催した（高齢者に関する講座のため認知症を含めた内容と考える）。
○町内会で認知症の人を把握し、徘徊しているときは声かけを行います。	⇒	○「声かけ隊」を通して声かけ運動を推進した。
○地域活動を通じた高齢者の生きがいづくりを進めます。	⇒	○一人暮らし高齢者昼食会等、高齢者を積極的に地域活動へ誘い、地域とのつながりを通して生きがいづくりを図った。
○制度の狭間にいる高齢者へ、地域で見守り・支援を行います。	⇒	○高齢者への対応は「声かけ隊」を通して支援活動を行っていくよう検討した。

■校区懇談会からの意見

地域住民が集まる場所や機会を設けたい！



外出に面倒を感じないよう、地域でサロンを立ち上げました。

校区のめざす姿 2

『みんながあいさつし、ご近所の顔がみえる 旭』

■これまでの取り組みの状況

そのために、地域でできること		取り組みの状況
○「ロコミ」による地域活動への参加を促進します。	⇒	○事業の開催を積極的に周知し、話題性を高め、参加の促進を図った。
○あいさつ運動を通じて、地域のつながりを深めます。	⇒	○あいさつ運動や地域活動を通じて地域のつながりを深めた。
○地域の特色を活かしたエコ活動を促進します。	⇒	○地域で実施している資源ごみ回収事業は、高齢者の負担軽減とエコ活動につながった。

■校区懇談会からの意見

資源ごみ回収に積極的に協力しています。



散歩中に地域の人にあいさつをしています。

校区のめざす姿 3

『世代を超えて誰もが交流できる 旭』

■これまでの取り組みの状況

そのために、地域でできること		取り組みの状況
★高齢者が子どもに昔話を話して聞かせるなど、高齢者の子育て支援への参加を促進します。	⇒	○子どもの親の多くが就業しているので、週末の活動に限られることが課題である。
★集会所を活用して、多世代の交流を促進します。	⇒	○連合自治会と校区社協での共催を考えないと実施は難しい。
○三世代交流行事を推進します。	⇒	○パターゴルフ大会や健康歩こう大会等、多世代が参加できる地域事業を開催し、多くの住民の参加を図った。
○高齢者を支えるボランティアを募集します。	⇒	○ボランティア活動を募る対象者が高齢者となり、すでに種々の組織に加入してオーバーワークとなっている。
○働いている人が地域行事やイベントに参加しやすいよう、事業内容や開催する時間帯を考慮します。	⇒	○多世代の参加を前提とする事業は、参加しやすい土曜日、日曜日に開催した。

■校区懇談会からの意見

地域の子どもが減っており、集まってもらうことが難しいです。



ボランティア活動に参加する人を集めることに苦労しています。

親子で参加できる行事を開催するのはどうでしょうか。



スクールガード等が子どもにとって安心する存在になることが重要です。



校区別計画

旭小学校区の校区別計画は以下のとおりです。「★」は、この4年間で重点的に取り組んでいく「校区版チャレンジ事業」です。

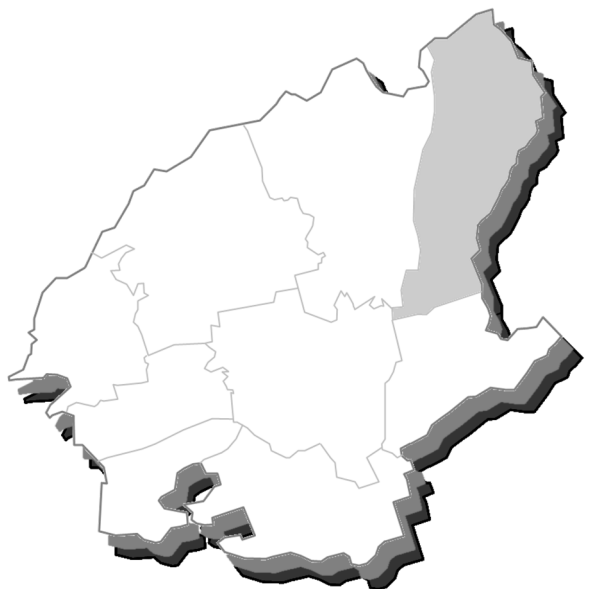
校区のめざす姿	そのために、地域でできること
1 いきいきと笑顔で暮らす高齢者の多い 旭	★高齢者版“見守り隊”の活動の充実を図ります。 ・地域住民みんなで隣近所との声かけや見守りを行います。
	○認知症についての講習会への参加を促進します。 ・認知症の人の家族等に対する支援を行います。
	○町内会で認知症の人を把握し、徘徊しているときは声かけを行うとともに、地域で連絡方法を決定・共有します。 ・あさひ介護者のつどい等への参加を促進します。
	★地域活動を通じた高齢者の生きがいづくりを進めます。 ・地域で集まる場や機会を設けます。
	○制度の狭間にいる高齢者へ、地域で見守り・支援を行います。 ・“声かけ隊”を通して支援を行います。
2 みんながあいさつし、ご近所の顔がみえる 旭	○「ロコミ」による地域活動への参加を促進します。 ・広報紙を通してイベント等の案内を行います。
	★あいさつ運動を通じて、地域のつながりを深めます。 ・地域住民みんながあいさつを交わすよう促進します。
	★地域の特色を活かしたエコ活動を促進します。 ・地域組織で連携し、資源ごみの回収に協力します。
3 世代を超えて誰もが交流できる 旭	○公共施設等を活用して、多世代の交流を促進します。 ・公共施設等に集まるための手段や実施方法を検討します。
	★多世代交流行事を推進します。 ・ふれあい運動会や健康歩こう大会等の多世代が楽しめるイベントを開催します。
	★働いている人が地域行事やイベントに参加しやすいよう、事業内容や開催する時間帯を考慮します。 ・土曜日、日曜日に行事・イベントを開催できるよう進めます。

2 東栄小学校区



小学校区の概況

東栄小学校区は、市北東部に位置し、瀬戸市と接しています。校区内には、幹線道路として東西に瀬戸新居線、南北に県道玉野川森林公園線が走っています。鉄道は名鉄瀬戸線三郷駅があり、通勤等に恵まれた立地にあります。



■東栄小学校区の総人口等の推移

	平成 27 年	令和 2 年
総人口	9,505 人	9,564 人
高齢化率	24.2 %	26.9 %
年少人口割合	14.4 %	13.2 %

資料：平成 27 年…住民基本台帳（6 月 1 日現在）、令和 2 年…住民基本台帳（3 月 31 日現在）

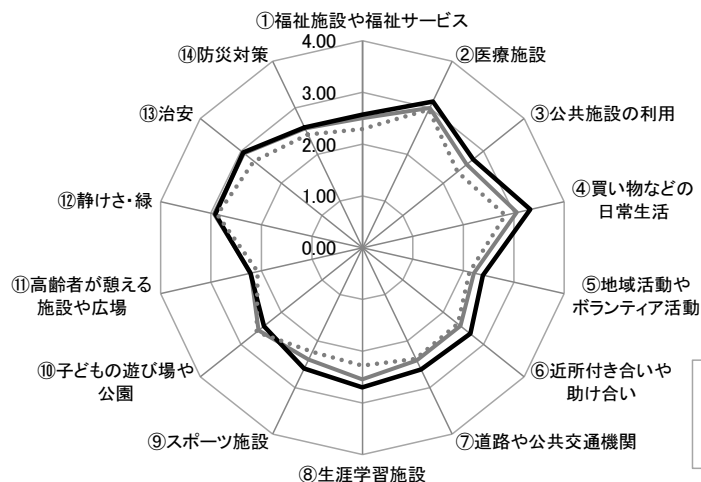


現状と課題



アンケート調査結果からみる現状

- 市全体を上回っている分野が多くなっていますが、「⑩子どもの遊び場や公園」「⑫静けさ・緑」は市全体の平均を下回っています。
- 項目でみると、「⑤地域活動やボランティア活動」「⑥近所付き合いや助け合い」「⑨スポーツ施設」の 3 項目が市全体の中で最高得点となっています。
- 平成 28 年と比較すると、「⑩子どもの遊び場や公園」で得点が減少している一方で、その他の 13 項目すべてで得点が増加しています。



※設問の 4 つの選択肢を次のように点数化しています。「不明・無回答」を除く回答件数で除した、加重平均で平均値を算出しました。

区分	点数
そう思う	4
どちらかといえばそう思う	3
あまりそうは思わない	2
まったく思わない	1

— 市全体
 — 東栄小学校区 (R2)
 東栄小学校区 (H28)



これまでの取り組みの状況

前回計画で定めた「校区のめざす姿」を達成するための、「そのために、地域でできること」の取り組みの状況は以下のとおりです。「★」は、前回計画で重点的に取り組んできた事業です。

校区のめざす姿 1

『高齢者が笑顔で過ごせる居場所のある 東栄』

■これまでの取り組みの状況

そのために、地域でできること		取り組みの状況
★空き家等を活用し、高齢者のサロンを地域のなかに増やします。	⇒	○空き家の把握、持ち主の情報収集が困難なため実施できなかった。
○集会所等における高齢者の集いの機会を拡充します。	⇒	○集会所、老人いこいの家の有効活用を検討した。
○自治会、シニアクラブと協力し、高齢者世帯の訪問を行います。	⇒	○宅配弁当、敬老祝品配布事業等を通じて実施した。
○関係機関との間で情報を共有し、高齢者に対する支援のネットワーク化を図ります。	⇒	○民生委員・児童委員や校区社協等が連携し、高齢者の状況把握を行った。

■校区懇談会からの意見

空き家や支援を必要とする高齢者の情報を集めることに苦労しています。



地域で定期的に高齢者が集まり交流する機会を設けたいです。

校区のめざす姿 2

『子どもから高齢者まで地域活動を行う 東栄』

■これまでの取り組みの状況

そのために、地域でできること		取り組みの状況
★商店の個人事業主と協力しながら、地域活性化を推進します。	⇒	○自治会・町内会や校区社協等の事業、イベント活動を通じて活性化を図った。
★家族で参加できる行事を考え、若い世代の地域参加を促進します。	⇒	○ごみゼロ運動や盆踊り、ウォーキング、どんど焼き等の事業を通じて地域住民の参加を促進した。
○PTAの役員などを地域組織への参加につなげます。	⇒	○T E S A 活動（東栄小学校地域学校支援推進事業）を通して相互協力を図った。
○世代を問わず楽しめる地域行事を企画し、参加を呼びかけます。	⇒	○ウォーキングや敬老まつり、どんど焼きを開催し、参加促進を図った。

そのために、地域でできること
○若い世代に声をかけながら、今後、地域活動を担う中核となる人材を育成します。

⇒

取り組みの状況
○T E S A活動や自治会・町内会活動、学校等と連携して促進した。

■校区懇談会からの意見

感染症対策を行いながら盆踊り等の地域行事を開催したい！



地域の商店で利用できるクーポン券等を発行するのはどうでしょうか。

校区のめざす姿3

『「地域力」による防犯・防災力が高い 東栄』

■これまでの取り組みの状況

そのために、地域でできること
★校区内のハザードマップを作成します。
○防犯、防災教室を通じて、高齢者をはじめとする地域のつながりを深めます。
○防犯パトロールの強化を図ります。
○隣近所でコミュニケーションを取りながら、見守り体制を強化します。

⇒

⇒

⇒

⇒

取り組みの状況
○未実施のため、今後T E S A活動の中で自治会・町内会等と連携して検討していく。
○地域の団体と連携を図った。
○防犯パトロールや健全育成等を実施し、地域強化を図った。
○自治会・町内会活動やパトロール、健全育成活動で体制を強化した。

■校区懇談会からの意見

防犯セミナーを開催したい！



大久手自治会では、ハザードマップを小学生とともに作成しました。

防災活動委員の組織化が必要です。



校区社協と連合自治会等が連携し、防災体制を強化する必要があります。



校区別計画

東栄小学校区の校区別計画は以下のとおりです。「★」は、この4年間で重点的に取り組んでいく「校区版チャレンジ事業」です。

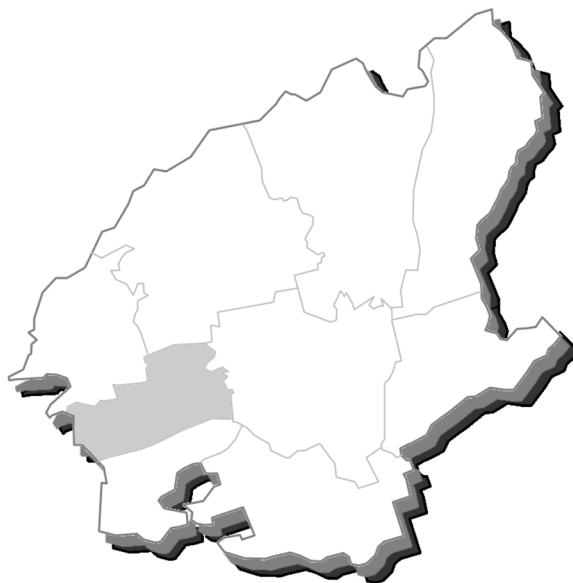
校区のめざす姿	そのために、地域でできること
1 高齢者が笑顔で過ごせる居場所のある東栄	★集会所等におけるサロン等、高齢者の集いの場を増やします。 ・高齢者が外出する機会をできるだけ多く設けます。 ★自治会・町内会、民生委員・児童委員と適切に役割を分担し、地域の課題を共有します。 ・高齢者世帯へ訪問し、顔がみえる関係を築きます。 ・地域の課題を共有する意見交換会等の開催を検討します。
2 子どもから高齢者まで地域活動を行う東栄	★商店の個人事業主と協力しながら、地域活性化を推進します。 ・地域の商店を利用してもらうための仕組みづくりについて検討します。 ★家族で参加できる行事を考えることや役員を担ってもらうことで、若い世代の地域参加を促進します。 ・地域で学び合う機会や仕組みをつくります。 ・T E S A 活動やP T A 活動と連携します。 ★世代を問わず楽しめる地域行事を企画し、参加を呼びかけます。 ・盆踊りやどんど焼き、運動会、秋祭り、ウォーキング、ごみゼロ運動等を開催します。 ★世代を問わず声をかけながら、今後、地域活動を担う中核となる人材を育成します。 ・特に若い世代に声をかけ、地域活動の担い手として育成します。
3 「地域力」による防犯・防災力が高い東栄	○校区内の危険箇所を把握します。 ・空き家やかけこみ110番の家、こども110番の家を把握します。 ★防犯、防災教室を通して、高齢者をはじめとする地域のつながりを深めます。 ・支援を必要とする人の支援体制を構築します。 ○自治会・町内会等各種団体が協力して、防犯パトロールの強化を図ります。 ・防犯パトロールの実効性向上に努めます。 ○隣近所でコミュニケーションを取りながら、見守り体制を強化します。 ・各種団体が協力して見守り体制を強化します。

3 渋川小学校区



小学校区の概況

渋川小学校区は、市西部に位置し、名古屋市と接しています。校区内には、幹線道路として東西に県道名古屋瀬戸線・県道上半田川名古屋線、南北に県道松本名古屋線・平子線が走っています。名古屋市への通勤等に恵まれた立地にあります。



■ 渋川小学校区の総人口等の推移

	平成 27 年	令和 2 年
総人口	5,212 人	5,418 人
高齢化率	14.8 %	15.9 %
年少人口割合	18.8 %	16.1 %

資料：平成 27 年…住民基本台帳（6 月 1 日現在）、令和 2 年…住民基本台帳（3 月 31 日現在）

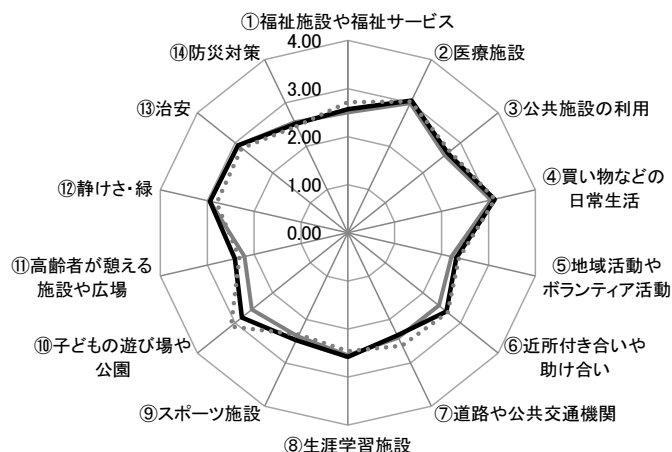


現状と課題



アンケート調査結果からみる現状

- 市全体とおおむね同じ傾向にありますが、「⑦道路や公共交通機関」「⑭防災対策」は市全体の平均を下回っています。
- 項目でみると、「⑩子どもの遊び場や公園」「⑪高齢者が憩える施設や広場」の 2 項目が市全体の中で最高得点となっています。
- 平成 28 年と比較すると、「⑫静けさ・緑」等で得点が増加している一方で、「⑩子どもの遊び場や公園」等で減少しています。



※設問の 4 つの選択肢を次のように点数化しています。「不明・無回答」を除く回答件数で除した、加重平均で平均値を算出しました。

区分	点数
そう思う	4
どちらかといえばそう思う	3
あまりそうは思わない	2
まったく思わない	1

— 市全体
— 渋川小学校区(R2)
..... 渋川小学校区(H28)



これまでの取り組みの状況

前回計画で定めた「校区のめざす姿」を達成するための、「そのために、地域でできること」の取り組みの状況は以下のとおりです。「★」は、前回計画で重点的に取り組んできた事業です。

校区のめざす姿 1

『楽しい！参加したい！地域活動のある 渋川』

■これまでの取り組みの状況

そのために、地域でできること		取り組みの状況
★できる地域活動への長期的な参加がハードルにならないよう、出入り自由、気軽に参加できる「プチ参加」の仕組みをつくります。	⇒	○敬老行事でのお茶の接待に小学生を募集し、「プチ参加」の仕組みをつくった。また、地域活動団体に参加した人に継続参加を呼びかけた。
★自治会・町内会への参加促進として、町内会長・班長のほかに、加入を呼びかける専任者を配置します。	⇒	○専任者の設置はできなかったが、参加促進を行った。
○転入者には、町内会長や班長を中心として、参加を呼びかけます。	⇒	○地域により程度差はあるが、転入者には自治会・町内会への加入を呼びかけると共に、行事への参加を呼びかけた。
○町内会の掲示板をつくり、町内会活動内容を掲示するなど、地域活動や行事の認知度を高めます。	⇒	○既存の掲示板を活用して、行事等のチラシを掲示した。また、回覧板も積極的に活用しPRした。

■校区懇談会からの意見

気軽に地域活動に参加できる仕組みをつくり、地域を盛り上げたい！



役員の負担が重く、なり手がいないことが課題です。

自治会・町内会未加入の人でも地域活動に参加できるようにするのはどうでしょうか。



敬老行事に小学生が参加してくれて、高齢者からも好評でした。

校区のめざす姿 2

『和気あいあい 地域がつながる 渋川』

■これまでの取り組みの状況

そのために、地域でできること
○回覧板を手渡しし、声かけを推進するなかで、顔の見える関係づくりを進めます。
○子どもを通じて、若い世代と高齢者との交流を促進します。

⇒

取り組みの状況
○全戸に対しては困難だったが、一部の地域では声かけを兼ねて高齢者世帯を中心に、回覧板の手渡しを実施した。
○敬老行事を開催するにあたり、小学生のお茶出し、中学生の演し物、県立旭野高校音楽部の生徒の協力を得て実施し、交流を図った。

⇒

■校区懇談会からの意見

回覧板を手渡しし、声かけをすることで、安否確認につながっています。



昔ながらの遊びを通して、子どもと高齢者の交流をするのはどうでしょうか。

校区のめざす姿 3

『高齢者になっても仲間がいる、居場所がある 渋川』

■これまでの取り組みの状況

そのために、地域でできること
★60 歳代の人でもシニアクラブに加入しやすいよう、名称変更(「いきいきクラブ」「元気クラブ」)の検討、魅力的な活動の検討を行います。
○集会所等を活用し、高齢者が気軽に集える場所を増やします。
○一人暮らし高齢者を定期的に2、3人で見回ります。
○家族と暮らしている高齢者にも声をかけ、地域活動への参加を促進します。

⇒

取り組みの状況
○名称変更は未検討だったが、若めの高齢者も楽しめて気軽に参加しやすいよう活動内容を検討した。
○自治会・町内会管理者と集会所等の管理方法等を協議した。
○シニアクラブが、一部の活動不参加のかたを対象に「友愛訪問」を実施した。
○顔見知りの高齢者に対して、個々に声かけを実施し行事への参加を呼びかけた。

⇒

⇒

⇒

■校区懇談会からの意見

役員の固定化や高齢化が課題となっています。



校区社協や自治会・町内会等が協働してイベントを行うのはどうでしょうか。



校区別計画

渋川小学校区の校区別計画は以下のとおりです。「★」は、この４年間で重点的に取り組んでいく「校区版チャレンジ事業」です。

校区のめざす姿	そのために、地域でできること
1 楽しい！参加したい！地域活動のある渋川	★地域活動への参加がハードルにならないよう、出入り自由、気軽に参加できる「プチ参加」の仕組みを工夫します。 ・幅広い世代が参加できるよう促進します。
	○地域組織において、適切な役割分担を行うことで、役員の負担軽減を図ります。 ・ボランティア活動への加入促進につなげます。
	○転入者には、校区社協広報の配布を通して、参加を呼びかけます。 ・それぞれの世帯に応じた声かけを行います。
	○地域活動や行事の認知度を高めます。 ・自治会・町内会加入者以外への呼びかけも検討します。
2 和気あいあい 地域がつながる 渋川	★できるだけ声かけを推進する中で、顔の見える関係づくりを進めます。 ・あいさつを積極的に行い、世帯の見守りにつなげます。
	★多世代で交流する場や機会を増やします。 ・シニアクラブ等の団体や児童館・学校等と連携し、参加を呼びかけます。
3 高齢者になっても仲間がいる、居場所がある 渋川	○誰もがシニアクラブに加入しやすいよう、魅力的な行事の検討を支援します。 ・役員の負担軽減等を検討し、加入者の増加につなげます。
	○集会所等を活用し、高齢者が気軽に集える場所を増やします。 ・地域で自由に集まることができる場を検討します。
	★校区社協や自治会・町内会、民生委員・児童委員等が連携し、支援を必要とする人を定期的に見回ります。 ・支援を必要とする人の名簿を作成します。
	○市や自治会・町内会、自主防災会等と連携し、家族と暮らしている高齢者の情報を把握して、地域活動への参加を促進します。 ・ボランティア団体の周知を行います。

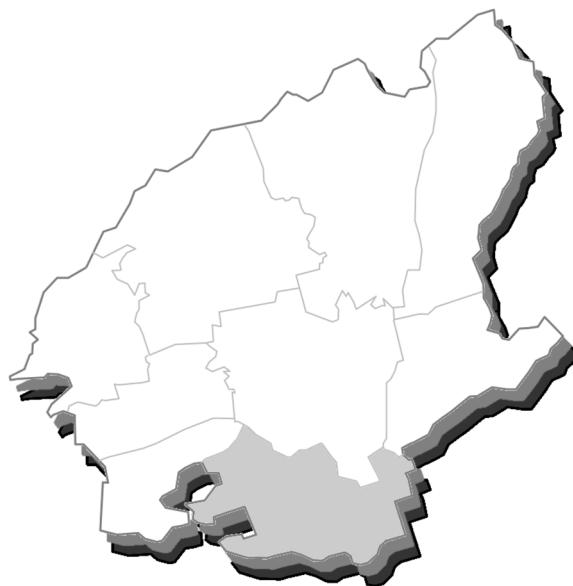
4

本地原小学校区



小学校区の概況

本地原小学校区は、市南部に位置し、名古屋市と接しています。最寄り駅として名古屋市の藤が丘駅を利用している人も多く、生活圏が名古屋市の人が多い等、ベッドタウンとしての役割を高めています。国道 363 号沿いには、飲食店や商店が数多く立ち並ぶ活気のある校区です。



■本地原小学校区の総人口等の推移

	平成 27 年	令和 2 年
総人口	11,380 人	11,319 人
高齢化率	25.1 %	27.6 %
年少人口割合	14.7 %	12.6 %

資料：平成 27 年…住民基本台帳（6 月 1 日現在）、令和 2 年…住民基本台帳（3 月 31 日現在）

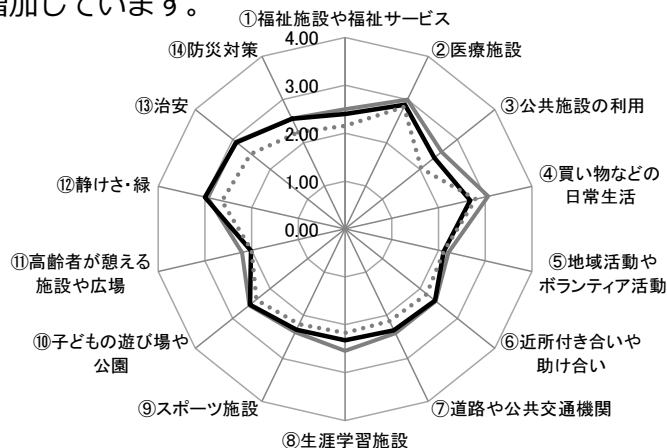


現状と課題



アンケート調査結果からみる現状

- 市全体より満足度が低い分野が多くなっており、特に「④買い物などの日常生活」で乖離が出ています。
- 項目でみると、「⑫静けさ・緑」が市全体の中で高い得点となっていますが、「②医療施設」「③公共施設の利用」「⑧生涯学習施設」「⑪高齢者が憩える施設や広場」の 4 項目は、市全体の中で最も低い得点となっています。
- 平成 28 年と比較すると、「④買い物などの日常生活」を除く 13 項目すべてで得点が増加しています。



※設問の 4 つの選択肢を次のように点数化しています。「不明・無回答」を除く回答件数で除した、加重平均で平均値を算出しました。

区分	点数
そう思う	4
どちらかといえばそう思う	3
あまりそうは思わない	2
まったく思わない	1

— 市全体
— 本地原小学校区(R2)
..... 本地原小学校区(H28)



これまでの取り組みの状況

前回計画で定めた「校区のめざす姿」を達成するための、「そのために、地域でできること」の取り組みの状況は以下のとおりです。「★」は、前回計画で重点的に取り組んできた事業です。

校区のめざす姿 1

『向こう三軒両隣のきずながある 本地原』

■これまでの取り組みの状況

そのために、地域でできること		取り組みの状況
★子育てママの力を活かした地域活動を検討します。	⇒	○本地ヶ原子ども会の協力の下、一部の親がもちつき大会・どんど焼きのスタッフとして参加した。また、PTAボランティアでは、卒業生の親も小学校の環境づくりに参加した。
○若い世代も地域活動に参加しやすい環境づくりをします。	⇒	○ソフトボール愛好会や厄年会、PTA活動を通して若い世代による地域活動への参加を図った。
○家庭・世帯で地域活動の大切さを話し合えるよう働きかけます。	⇒	○ごみゼロ運動、ふれあい運動会、防災訓練、年末大掃除を開催し、参加者に働きかけた。
○地域特有の行事を継続します。	⇒	○どんど焼き、盆踊り、もちつき大会を継続して開催した。
○町内会に加入していない人に対しても、町内会の行事や校区社協の行事等について案内します。	⇒	○公共施設でのポスター掲示、本地ヶ原連合自治会のホームページ等で発信した。 ○自治会・町内会を脱退した住民への案内が今後の課題である。

■校区懇談会からの意見

自治会・町内会を脱退した住民への案内が課題です。



若い世代に対して地域活動への参加を促す呼びかけをしたい！

校区のめざす姿 2

『親子の笑顔があふれる 本地原』

■これまでの取り組みの状況

そのために、地域でできること		取り組みの状況
★小・中学生のあいさつ運動を推進します。	⇒	○「青少年健全育成」を中心に活動がなされた。
○子育て世帯への「あんしん電話」の普及拡大を図ります。	⇒	○「あんしん電話」の実態が不明である。
○子ども会とのつながりを強化し、子育て世帯についての情報を得ます。	⇒	○自治会・町内会と連携してつながりの強化を図った。
○子育て支援を行う施設や児童館、児童クラブ等のPRを強化します。	⇒	○児童館の行事について、地域の協力団体が積極的に協力した。
○子育てサロンを充実し、親子の居場所をつくります。	⇒	○子育てサロン「だんだん」を毎月開催し、充実を図った。
○「新池交流館・ふらっと」を活用した三世代交流を促進します。	⇒	○敬愛ふれあい事業にて活用し、交流を促進した。

校区のめざす姿 3

『地域全体で高齢者を見守る 本地原』

■これまでの取り組みの状況

そのために、地域でできること		取り組みの状況
★民生委員・児童委員を中心に、住民全体が高齢者支援を心がけます。	⇒	○民生委員・児童委員による定期訪問や、「ももの会」の弁当宅配による見守り活動を実施した。

■校区懇談会からの意見

小学校のボランティア活動の輪を地域へ広げるのはどうでしょうか。



「ももの会」が実施していた手づくり弁当宅配事業に替わる訪問型事業を展開したい！



校区別計画

本地原小学校区の校区別計画は以下のとおりです。「★」は、この4年間で重点的に取り組んでいく「校区版チャレンジ事業」です。

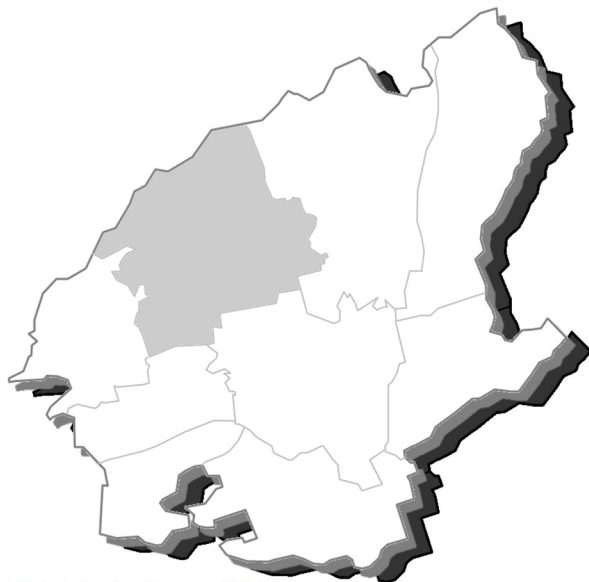
校区のめざす姿	そのために、地域でできること
1 向こう三軒両隣のきずながある 本地原	★子育てパパ、ママの力を活かした地域活動を検討します。 ・親子で参加できる活動を増やし、子育て世帯同士のつながりを深めます。
	★若い世代も地域活動に参加しやすい環境をつくれます。 ・子育て世帯の地域活動への参加を促します。
	★家庭・世帯全体で参加できる地域の行事を開催します。 ・地域の行事を開催する団体に協力します。
	★地域特有の行事を継続します。 ・状況に合わせて継続できるよう検討します。
	○住民に対し、地域の行事等について案内します。 ・自治会・町内会に加入していない人に対しての情報発信を検討します。
2 親子の笑顔があふれる 本地原	○小・中学生のあいさつ運動を推進します。 ・児童・生徒と交流する機会を増やします。
	○子ども会や子育て世帯とのつながりを強化し、情報を共有します。 ・情報共有や連携ができる体制づくりを進めます。
	★子育て支援を行う施設や児童館、児童クラブ等の活動に協力します。 ・子育て支援を行う施設や児童館、児童クラブ等に関する情報を子育て世帯に提供します。
	○子育てサロンを充実し、親子の居場所をつくれます。 ・子育てサロンへの参加を促します。
	○「新池交流館・ふらっと」を活用した多世代交流を促進します。 ・多世代が話し合う機会を検討します。
3 地域全体で高齢者を見守る 本地原	★民生委員・児童委員を中心に、住民全体が高齢者支援を心がけます。 ・関係団体間の交流や情報交換を活発に行います。

5 城山小学校区



小学校区の概況

城山小学校区は、水と緑の豊かな城山公園と静かな住宅地に囲まれた環境です。大学が立地している関係から、若い人が行き交う賑わいのある地区です。



■城山小学校区の総人口等の推移

	平成 27 年	令和 2 年
総人口	10,941 人	11,218 人
高齢化率	26.6 %	27.3 %
年少人口割合	15.3 %	14.7 %

資料：平成 27 年…住民基本台帳（6 月 1 日現在）、令和 2 年…住民基本台帳（3 月 31 日現在）



現状と課題

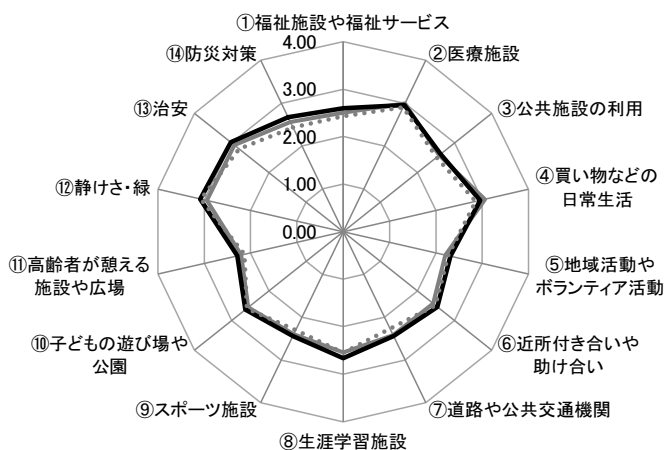


アンケート調査結果からみる現状

- 市全体とおおむね同じ傾向にありますが、「②医療施設」「④買い物などの日常生活」は市全体の平均を下回っています。
- 項目でみると、「⑫静けさ・緑」「⑬治安」の 2 項目が市全体の中で最高得点となっています。
- 平成 28 年と比較すると、14 項目すべてで得点が増加しています。

※設問の 4 つの選択肢を次のように点数化しています。「不明・無回答」を除く回答件数で除した、加重平均で平均値を算出しました。

区分	点数
そう思う	4
どちらかといえばそう思う	3
あまりそうは思わない	2
まったく思わない	1



— 市全体
— 城山小学校区(R2)
..... 城山小学校区(H28)



これまでの取り組みの状況

前回計画で定めた「校区のめざす姿」を達成するための、「そのために、地域でできること」の取り組みの状況は以下のとおりです。「★」は、前回計画で重点的に取り組んできた事業です。

校区のめざす姿1

『一致団結！三世代で思い出ができる 城山』

■これまでの取り組みの状況

そのために、地域でできること		取り組みの状況
★イベントPRポスターの作成など、イベントの周知方法を工夫します。	⇒	○連合自治会の管理する掲示板が充実し、大いに活用することができた。
○行事やイベントの意味や目的も含めて周知し、参加促進を図ります。	⇒	○自治会・町内会の加入率が低下している中、回覧板に頼ることができない。 ○連合自治会の管理する掲示板が充実し、大いに活用することができた。
○義務的ではなく、自発的に参加する楽しい雰囲気づくりを行います。	⇒	○各種団体の連携を図り、それぞれが開催する行事等に関心を持ち、参加を呼びかけた。
○校区運動会では、競技種目を工夫し、三世代が楽しく競い合うなかでの交流の活性化を図ります。	⇒	○一部の町内会に子ども会組織がなく、不参加の地域があった。 ○目的を周知し、競技種目を工夫して実施した。
○ジュニアリーダーズクラブ等、若い世代の団体との連携を図り、子どもと大人と一緒に参加できる行事・イベントを考案します。	⇒	○小学校の協力を得て、各種団体が協力し、城山児童ふれあいサマーフェスタを実施した。

■校区懇談会からの意見

多世代が参加できるイベントがあるとよいと思います。



子どもや自治会・町内会に加入している人が少なくなっています。

スーパーマーケット等にチラシを置いてもらうのはどうでしょうか。



イベントポスターの作成そのものをイベントにできないでしょうか。

校区のめざす姿 2

『みんなでつくる安心・安全な明るい 城山』

■これまでの取り組みの状況

そのために、地域でできること
★ウォーキング等の健康増進の取り組みを 防犯パトロールと連動した取り組みとし て進め、「健康づくり」と「安心・安全な 地域づくり」の両面から強化を図ります。
○防犯パトロールの増加を図ります。
○防災訓練を充実し、災害時対策への意識 を高めるとともに、災害時に適切な行動 がとれるようにします。

⇒

⇒

⇒

取り組みの状況
○「歩け歩けとお楽しみ満腹大会」や「歩いて 行こうふれあいサロン」等地域に密着 した事業を実施することにより、「安心・ 安全な地域づくり」を図った。
○防犯パトロール体制ができていない地域 がある。
○平成 28 年度より城山自主防災組織がよ り充実され、防災訓練等に積極的に参画 した。

■校区懇談会からの意見

日々のウォーキング等が
パトロールにもなると思
います。



避難訓練の充実や参加促
進が必要です。

校区のめざす姿 3

『今日も元気、明日も元気 高齢者の笑顔あふれる 城山』

■これまでの取り組みの状況

そのために、地域でできること
★地域組織・団体の連携により、行事への参 加の呼びかけを推進します。
○高齢者対象の行事を増やし、高齢者の元 気づくりを進めます。

⇒

⇒

取り組みの状況
○各種団体の連携を図り、それぞれが開催 する行事等に関心を持ち、参加を呼びか けた。
○城山小学校の児童や P T A の協力を得て 「一人暮らし高齢者ふれあい昼食会」を 実施した。

■校区懇談会からの意見

感染症対策を講じた行事
運営の方法を検討する必
要があります。



様々な取り組みを行い、
多くの高齢者に参加して
ほしいです。



校区別計画

城山小学校区の校区別計画は以下のとおりです。「★」は、この4年間で重点的に取り組んでいく「校区版チャレンジ事業」です。

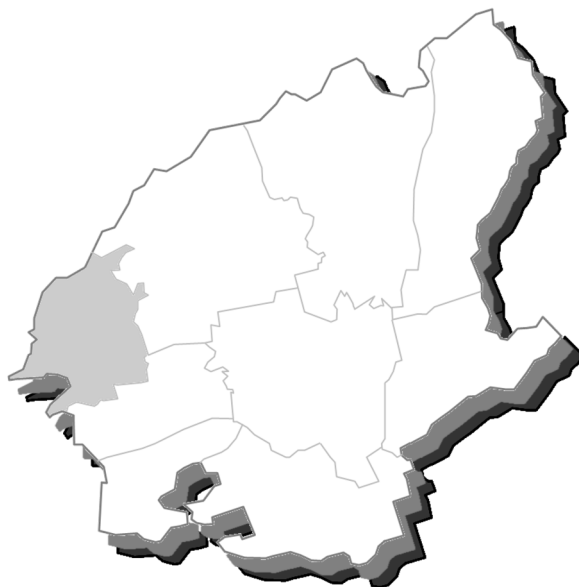
校区のめざす姿	そのために、地域でできること
1 一致団結！三世代で思い出ができる 城山	★対象者に合わせたイベントPRポスターの作成や保育園、児童館、商店の協力を得る等、イベントの周知方法を工夫します。 ・住民に伝わりやすい情報発信方法を検討します。
	○行事やイベントの意味や目的も含めて周知するとともに、集まりやすい場所・範囲を工夫し、参加促進を図ります。 ・城山コミュニティセンターを有効的に活用します。
	○義務的ではなく、自発的に参加する魅力ある楽しい雰囲気づくりを行います。 ・いつでも誰でも参加できる環境をつくれます。
	★校区大運動会では、競技種目を工夫し、三世代が楽しく競い合う中で交流の活性化を図ります。 ・校区大運動会の運営方法を工夫し、参加者の増加につなげます。
	★地域組織・団体と若い世代の連携を図り、子どもと大人と一緒に参加できる行事・イベントを考案します。 ・若い世代の参加促進を図ります。
2 みんなでつくる安心・安全な明るい 城山	○ウォーキング等の健康増進の取り組みを防犯パトロールと連動した取り組みとして進め、「健康づくり」と「安心・安全な地域づくり」の両面から強化を図ります。 ・ウォーキングマップの作成やコースの充実等、参加者の増加につなげる仕掛けづくりを行います。
	★空き家も含め、防犯パトロールの増加を図ります。 ・校区社協や自治会・町内会、民生委員・児童委員等が連携します。
	★防災訓練の一層の充実を図り、災害時対策への住民全員の意識を高めるとともに、災害時に適切な行動がとれるようにします。 ・防災訓練への参加を促します。
3 今日も元気、明日も元気 高齢者の笑顔あふれる 城山	★地域組織・団体の連携により、行事への参加の呼びかけを推進します。 ・名古屋産業大学等と連携した行事・イベントの開催を検討します。
	○高齢者対象の行事を増やし、高齢者の元気づくりを応援します。 ・高齢者が利用する場所の安全対策を進めます。

6 白鳳小学校区



小学校区の概況

白鳳小学校区は、市の北西部に位置し、名古屋市と接しています。校区内には、幹線道路として東西に県道名古屋瀬戸線、南北に県道松本名古屋線が走っています。鉄道は名鉄瀬戸線印場駅があり、通勤等に恵まれた立地にあります。また、小幡緑地公園（東園）があり、自然にも恵まれています。



■白鳳小学校区の総人口等の推移

	平成 27 年	令和 2 年
総人口	10,240 人	10,600 人
高齢化率	20.5 %	21.9 %
年少人口割合	15.9 %	15.1 %

資料：平成 27 年…住民基本台帳（6 月 1 日現在）、令和 2 年…住民基本台帳（3 月 31 日現在）

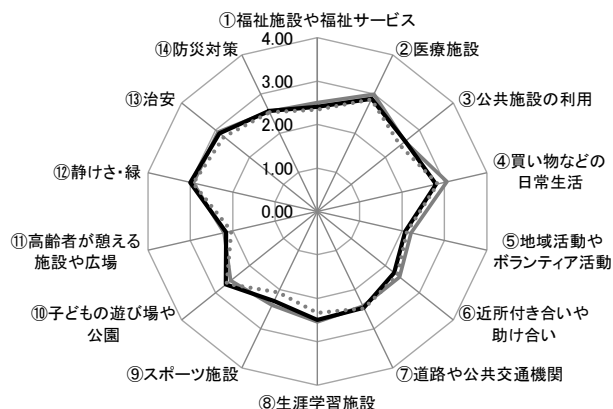


現状と課題



アンケート調査結果からみる現状

- 市全体より満足度がやや低い分野が多くなっており、特に「④買い物などの日常生活」で乖離が出ています。
- 項目でみると、「⑩子どもの遊び場や公園」「⑫静けさ・緑」の 2 項目が市全体の中で高い得点となっていますが、「⑤地域活動やボランティア活動」「⑥近所付き合いや助け合い」の 2 項目は市全体の中で最も低い得点となっています。
- 平成 28 年と比較すると、「⑨スポーツ施設」等で得点が増加している一方で、「⑥近所付き合いや助け合い」等で減少しています。



※設問の 4 つの選択肢を次のように点数化しています。「不明・無回答」を除く回答件数で除した、加重平均で平均値を算出しました。

区分	点数
そう思う	4
どちらかといえばそう思う	3
あまりそうは思わない	2
まったく思わない	1

— 市全体
— 白鳳小学校区 (R2)
..... 白鳳小学校区 (H28)



これまでの取り組みの状況

前回計画で定めた「校区のめざす姿」を達成するための、「そのために、地域でできること」の取り組みの状況は以下のとおりです。「★」は、前回計画で重点的に取り組んできた事業です。

校区のめざす姿 1

『地域行事には全員参加！顔見知りがいっぱいの 白鳳』

■これまでの取り組みの状況

そのために、地域でできること		取り組みの状況
★ 1年間で1回は地域行事、イベントに全員参加できるような仕組みをつくります。	⇒	○様々な機会に積極的な啓発活動を行った。また、デジタルフォトフレームを購入し白鳳公民館に設置して、広報活動に力を入れた。
★子どもと一緒に参加した大人にターゲットをしぼり、地域活動への継続的な参加につなげます。	⇒	○白鳳小学校の協力を得て、児童の地域行事参加への啓発活動に取り組み、参加を呼びかけた。
○子どもが企画するイベントを行います。	⇒	○今後具体的な方法を検討する。
○周りの人に直接声かけをしながら、地域活動への参加者を増やします。	⇒	○今後具体的な方法を検討する。

■校区懇談会からの意見

子どもがスタッフとして参加するイベントを開催するのはどうでしょうか。



校区社協、自治会・町内会、民生委員・児童委員等による定例会議を開催するのはどうでしょうか。

校区のめざす姿 2

『高齢者を孤立させない つながりのある 白鳳』

■これまでの取り組みの状況

そのために、地域でできること		取り組みの状況
★「いきいきサロン」の定期開催など、住民主体の高齢者の交流の場づくりを進めます。	⇒	○年4回、白鳳いきいきサロンを開催し、参加人数も増加してきた。
○災害時における高齢者の避難支援活動を充実します。	⇒	○自治会・町内会等各種団体が検討する場を設け、話し合いを行っている。
○一人暮らし高齢者への買い物支援を充実します。	⇒	○必要とする人と、支援する人数や体制の再検討が必要である。

■校区懇談会からの意見

コロナ禍の中、サロンの開催方法を検討する必要があります。



高齢者を孤立させない支援が課題となっています。

校区のめざす姿 3

『他にない子育ての魅力のある 白鳳』

■これまでの取り組みの状況

そのために、地域でできること
★大都市にはない魅力的な児童館があることをPRします。
○すべての地域に子ども会ができるよう働きかけます。

⇒

⇒

取り組みの状況
○親子や子どもを対象としたクッキングや工作を行う教室を実施した。
○新たな子ども会の形を検討する必要があります。

■校区懇談会からの意見

白鳳小学校の地域連携事業の中でお手伝いできることがあればやりたいです！



児童館が親子の集いの場となるよう、運営方法を検討したいです。

校区のめざす姿 4

『まずは自分から！防災・防犯意識の高い 白鳳』

■これまでの取り組みの状況

そのために、地域でできること
★自主防災活動を通じて、地域のつながりを深めます。
○一人ひとりが防災の意識を高く持ち、防災訓練に参加します。

⇒

⇒

取り組みの状況
○地域代表の「白鳳防災会議」での討議・意思決定に加え、令和2年には白鳳小学校区9団体代表との意見交換の場「災害対策特別協議会」の開催をスタートさせた。
○平成30年より防災活動年次報告書を作成。地域の責任者（町内会長）にも防災問題の共有化を進めている。

■校区懇談会からの意見

防災グッズや家具転倒防止等を周知し、防災への意識を高める必要があります。



災害発生時に協力できることを一覧化するのはどうでしょうか。



校区別計画

白鳳小学校区の校区別計画は以下のとおりです。「★」は、この４年間で重点的に取り組んでいく「校区版チャレンジ事業」です。

校区のめざす姿	そのために、地域でできること
1 地域行事には全員参加！顔見知りがいっぱいの 白鳳	★ 1年間で1回は地域行事、イベントに全員参加できるように、関係団体代表者による定例会議を設立する等の仕組みをつくります。 ・地域行事、イベントの適宜見直しや充実を図ります。
	○子どもと一緒に参加した大人にターゲットをしぼり、地域活動への継続的な参加につなげます。 ・親子が参加できる地域行事・イベントを開催します。
	○子どもが企画に参画するイベントを行います。 ・子どもと高齢者がふれあう機会を設けます。
2 高齢者を孤立させない つながりのある 白鳳	★「いきいきサロン」の定期開催等、住民主体の高齢者の交流の場づくりを継続して推進します。 ・交流の場の運営に係る負担の軽減を図ります。
	○災害対策を充実します。 ・いきいきサロンで防災に関する話をする等、高齢者の防災に対する意識を高めます。
	○社協が実施する生活応援サービスを活用し、一人暮らし高齢者への買い物支援を充実します。 ・社協と連携し、高齢者への支援の充実を図ります。
3 他にない子育ての魅力のある 白鳳	○親子のふれあいを大切にするなど、大都市にはない魅力的な児童館があることをPRします。 ・児童館行事への参加を促します。
	○子ども会活動が継続できるよう働きかけます。 ・子ども会のあり方や運営方法について検討します。
4 まずは自分から！防災・防犯意識の高い 白鳳	★自主防災活動を通して、地域のつながりを深めます。 ・活動内容や目的等を周知します。
	○一人ひとりが防災の意識を高く持ち、防災訓練に参加します。 ・災害の想定や避難に支援を必要とする人に関する情報等を地域で共有する方法を検討します。

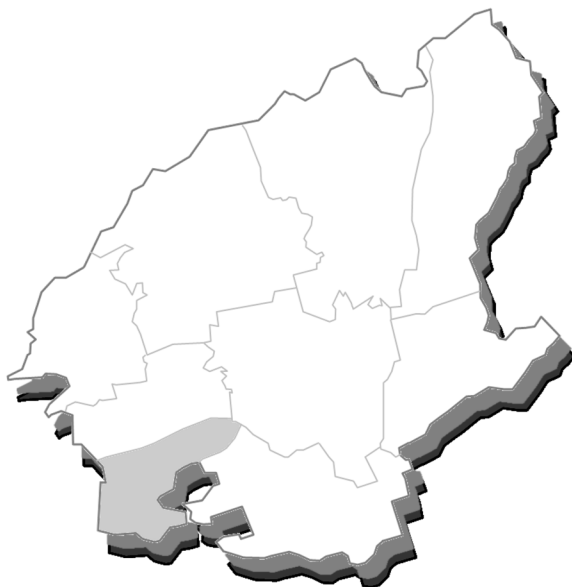
7 瑞鳳小学校区



小学校区の概況

瑞鳳小学校区は、市の南西端部に位置し、名古屋市と接しています。矢田川沿いの自然豊かな環境にあり、その近くに瑞鳳小学校があります。

また、校区内には、幹線道路として県道上半田川名古屋線及び県道松本名古屋線が走っています。



■瑞鳳小学校区の総人口等の推移

	平成 27 年	令和 2 年
総人口	7,351 人	7,256 人
高齢化率	26.7 %	29.1 %
年少人口割合	13.4 %	12.9 %

資料：平成 27 年…住民基本台帳（6 月 1 日現在）、令和 2 年…住民基本台帳（3 月 31 日現在）

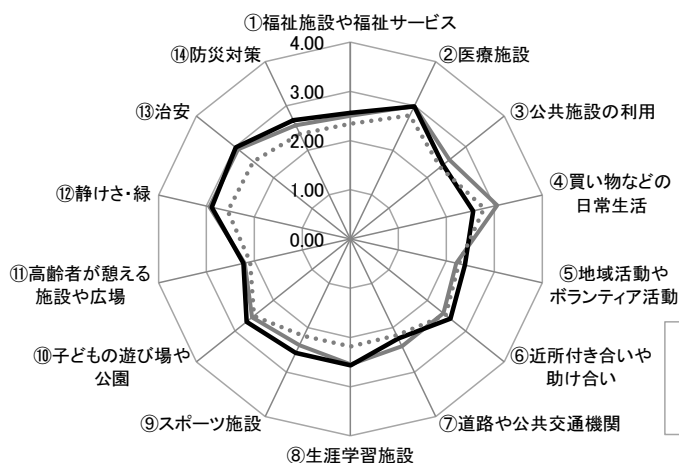


現状と課題



アンケート調査結果からみる現状

- 市全体と比較すると、分野ごとで満足度に差が出ています。
- 項目でみると、「⑭防災対策」が市全体の中で最高得点となっている一方で、「④買い物などの日常生活」「⑦道路や公共交通機関」の 2 項目は市全体の中で最も低い得点となっています。
- 平成 28 年と比較すると、「④買い物などの日常生活」を除く 13 項目すべてで得点が増加しています。



※設問の 4 つの選択肢を次のように点数化しています。「不明・無回答」を除く回答件数で除した、加重平均で平均値を算出しました。

区分	点数
そう思う	4
どちらかといえばそう思う	3
あまりそうは思わない	2
まったく思わない	1

— 市全体
— 瑞鳳小学校区 (R2)
..... 瑞鳳小学校区 (H28)



これまでの取り組みの状況

前回計画で定めた「校区のめざす姿」を達成するための、「そのために、地域でできること」の取り組みの状況は以下のとおりです。「★」は、前回計画で重点的に取り組んできた事業です。

校区のめざす姿 1

『「子ども」を核とし 世代を超えたつながりのある 瑞鳳』

■これまでの取り組みの状況

そのために、地域でできること		取り組みの状況
★空き家を活用し、高齢者と子どもの交流の場をつくります。	⇒	○家屋の管理が難しい。また大勢が一堂に会するだけの広さが無いことと、所在地が校区内のどこからでも適度な距離にない。
○高齢者サロンと保育園、小学校の交流事業を行います。	⇒	○平成 30 年度から、小学生と地域の交流を活発にするための「スタンプラリー」を継続して実施した。
○高齢者による子どもの預かり、子どもや若い世代によるシニアクラブの運営支援など、世代間の交流を通じた地域のつながりの強化を図ります。	⇒	○各世代の皆さんが共有できるイベントを通じて地域のつながりの強化を図ることが必要。

■校区懇談会からの意見

小学校の余裕教室を活用することはできないでしょうか。



「棒の手」等の地域の文化・伝統を継承する取り組みを行うのはどうでしょうか。

校区のめざす姿 2

『みんなに役割があり、地域活動が活発な 瑞鳳』

■これまでの取り組みの状況

そのために、地域でできること		取り組みの状況
★多忙な人でも地域活動に参加できるよう、「地域活動への部分対応方式」を検討します。	⇒	○連合自治会と地域有識者との合同会議（運営委員会）を開催している。 ○新たな人材の発掘が課題である。

そのために、地域でできること		取り組みの状況
○地域の行事に小・中学生、高校生に意見を出してもらえる機会をつくります。	⇒	○瑞鳳小学校と連携し、「こども会議」を通してスタンプラリーの実施や、地域行事カレンダーの作成を実現した。
○転入世帯が地域を知るきっかけとなるよう、積極的に声かけを行い、行事やイベントへの参加を促進します。	⇒	○青空市への参加も進んでいたが、感染症対策のため休止している。
		○連合自治会主体で、自治会・町内会への加入促進キャンペーンを実施していく。

校区のめざす姿3

『高齢者の生きがい 活躍の場がある 瑞鳳』

■これまでの取り組みの状況

そのために、地域でできること		取り組みの状況
★「たすけあいチーム」の活動を充実させます。	⇒	○チーム員の数もほぼ確保できており、新聞や洗濯物等の見守りも定着してきた。
○元気な高齢者が地域で役割を持てるよう、高齢者が活躍できる場の開発・企画を進めます。	⇒	○仕事を持ったかたが多いため、時間に縛られることを避ける傾向にある。
○高齢者サロンを充実するとともに、参加の呼びかけを行います。	⇒	○参加の呼びかけも不要なほど盛況であった。瑞鳳公民館を目的地としたウォーキングで実施した。
○高齢者への買い物支援を行います。	⇒	○自力で青空市に行けないかたの代理購買を受けている。
	⇒	○地域ケア会議移動手段部会に協力し、「瑞鳳買い物ツアーとみんなでランチ」を実施した。

■校区懇談会からの意見

瑞鳳小学校の「ふれあい子ども会議」に、積極的に関わりたいです。



地域組織が連携して人材発掘や加入促進等を行う必要があります。



校区別計画

瑞鳳小学校区の校区別計画は以下のとおりです。「★」は、この4年間で重点的に取り組んでいく「校区版チャレンジ事業」です。

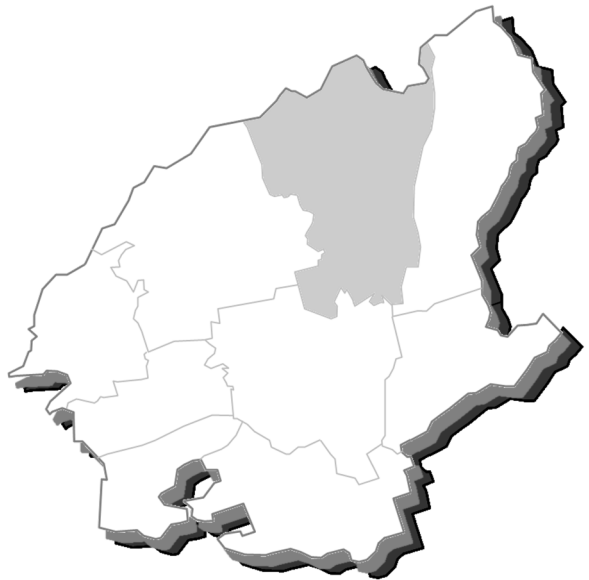
校区のめざす姿	そのために、地域でできること
1 「子ども」を核とし世代を超えたつながりのある 瑞鳳	★ 学校の余裕教室を活用し、元気な高齢者と子どもの交流の場をつくれます。 ・多世代が交流する機会や場を増やします。
	★ 高齢者サロンと保育園、小学校の交流事業や子ども、若い世代によるシニアクラブの運営支援など、世代間の交流を通じた地域のつながりの強化を図ります。 ・地域組織や関係団体間で連携する体制づくりを進めます。
2 みんなに役割があり、地域活動が活発な 瑞鳳	★ 多忙な人でも地域活動に参加できるよう、周知方法も含め役割分担を工夫します。 ・地域組織や関係団体の連携による人材発掘を行います。
	○地域の行事に小・中学生、高校生に意見を出してもらえる機会をつくれます。 ・学校の行事に地域住民が参加します。
	★ 転入世帯が地域を知り、参加するきっかけとなるよう、積極的に声かけを行うとともに、参加しやすい行事やイベントを企画します。 ・自治会・町内会に加入するメリットや行事予定を伝えます。
3 高齢者の生きがい活躍の場がある 瑞鳳	○「たすけあいチーム」の活動を充実させます。 ・活動内容の適宜見直しや人材確保を行います。
	○元気な高齢者が地域で役割を持てるよう、高齢者が活躍できる場の開発・企画を進めます。 ・高齢者がもつ能力や知識、経験等を地域に活かす仕組みをつくりまします。
	○高齢者サロンを充実するとともに、参加の呼びかけを行います。 ・高齢者サロンに関する情報発信を行うとともに、感染症対策を講じた開催方法について検討します。
	★ 高齢者への買い物支援を行います。 ・代理購買や移動販売等の実施方法を適宜見直します。

8 旭丘小学校区



小学校区の概況

旭丘小学校区は、尾張旭市の北部に位置し、校区内には、東西に瀬戸新居線、南北に県道玉野川森林公園線が走っています。また、森林公園や濁池等、自然が豊かな環境です。高級住宅が多く並んでおり、閑静な住宅街となっています。



■旭丘小学校区の総人口等の推移

	平成 27 年	令和 2 年
総人口	9,491 人	9,625 人
高齢化率	27.8 %	29.5 %
年少人口割合	14.4 %	14.4 %

資料：平成 27 年…住民基本台帳（6 月 1 日現在）、令和 2 年…住民基本台帳（3 月 31 日現在）

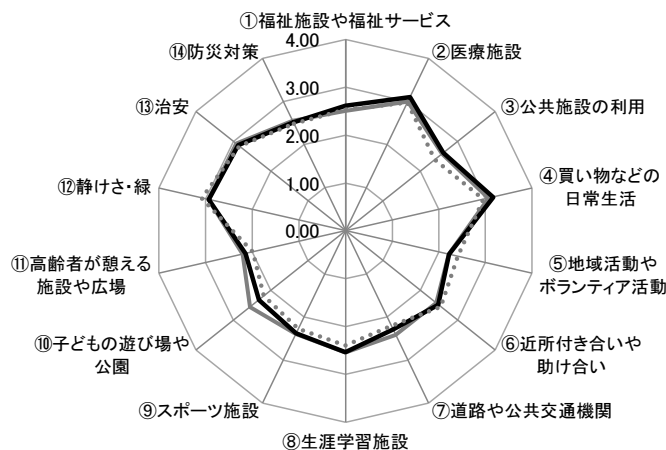


現状と課題



アンケート調査結果からみる現状

- 市全体とおおむね同じ傾向にありますが、「⑩子どもの遊び場や公園」では乖離が出ています。
- 項目でみると、「①福祉施設や福祉サービス」が市全体の中で最高得点となっている一方で、「⑩子どもの遊び場や公園」は市全体の中で最も低い得点となっています。
- 平成 28 年と比較すると、「⑤地域活動やボランティア活動」「⑥近所付き合いや助け合い」「⑫静けさ・緑」で得点が減少している一方で、その他の 11 項目すべてで得点が増加しています。



※設問の 4 つの選択肢を次のように点数化しています。「不明・無回答」を除く回答件数で除した、加重平均で平均値を算出しました。

区分	点数
そう思う	4
どちらかといえばそう思う	3
あまりそうは思わない	2
まったく思わない	1

— 市全体
 — 旭丘小学校区 (R2)
 旭丘小学校区 (H28)



これまでの取り組みの状況

前回計画で定めた「校区のめざす姿」を達成するための、「そのために、地域でできること」の取り組みの状況は以下のとおりです。「★」は、前回計画で重点的に取り組んできた事業です。

校区のめざす姿 1

『地域活動の担い手が循環する 旭丘』

■これまでの取り組みの状況

そのために、地域でできること		取り組みの状況
★退職世代、若い世代に照準を合わせた担い手の育成を行います。特に「女性の力」を地域活動に活かせる仕組みを検討します。	⇒	○毎年、自治会長・町内会長・組長が変わるが、その中で若い人にも行事ごとに声かけをして参加を促した。 ○PTAの女性の参加が、夫婦での参加につながるがあった。
○親と子どもが一緒に参加できるボランティア活動の機会を充実し、担い手の育成につなげます。	⇒	○町内会、子ども会を通してごみゼロ運動、草刈り、がおかエコフェス等への参加を呼びかけ、多くの参加があった。
○ふれあい運動会に協力する若い世代を継続的な地域活動につなげます。	⇒	○運動会実行委員の負担を減らすために競技種目を17から15に減らした。 ○PTAの若い世代は子どもが小学校を卒業すると運動会の運営から離れることも多いが、他の行事への参加を促してふれあい行事の継続性を持たせた。

■校区懇談会からの意見

気軽に参加できる活動や運営負担の軽減を行う必要があります。



子どもから高齢者まで参加できる清掃活動を開催するのはどうでしょうか。

がおかエコフェス等の地域の人がふれあうイベントを継続したい！



転入者に対してチラシの配布や説明会の開催を行うのはどうでしょうか。

校区のめざす姿 2

『隣近所の“つながり”から“地域活動への参加”につなげる 旭丘』

■これまでの取り組みの状況

そのために、地域でできること		取り組みの状況
★「〇〇の人限定」など、世代やターゲットをしぼった企画の立案をすることで、より趣味、興味に即した地域行事・イベントを実施します。	⇒	○地域学校支援推進の中で「がおかホリデーチャレンジ」として小学生に対し、地域の人が講師になり、親子で参加できる講座も含めて定着した。
★山の手地区では転入者に向けた地域活動への説明会などを行い、参加の呼びかけを充実します。	⇒	○親子で楽しみながらの仲間づくりを目的として「カレーの日」を設けたが、参加者が少なく1度で終わってしまった。
○山の手地区では「山の手交流館いきいき」を活用した三世代交流を促進します。	⇒	○木彫り、押し花、将棋、囲碁、卓球、麻雀、グランドゴルフ、ノルディックウォーキング、コーラス等の活動があり、高齢者が多い中、親子の参加もあった。

校区のめざす姿 3

『高齢者を見守り、支え合える安心・安全な 旭丘』

■これまでの取り組みの状況

そのために、地域でできること		取り組みの状況
★回覧板を利用し、隣近所の人が一丸暮らし高齢者を見守る体制をつくります。	⇒	○高齢者が常に在宅とは限らないので、回覧板の手渡しにも限界がある。(回覧の日数が長くなってしまってもいけない)
★シニアクラブの組織化を行い、シニアクラブでボランティア活動を行うなど、活動の充実を図ります。	⇒	○旅行や新年会、誕生会等の実施、資源ごみ回収等活動の充実を図った。
○高齢者の元気づくり・健康づくりに向けた指導を充実します。	⇒	○イベント等(筋トレ、グランドゴルフ、ノルディックウォーキング等)を通じて無理なく楽しみながら行うことが、継続のポイントになった。

■校区懇談会からの意見

高齢者世帯を見守る体制や回覧板の活用方法等を検討する必要があります。



高齢者が社会活動を行う機会を増やす必要があります。



校区別計画

旭丘小学校区の校区別計画は以下のとおりです。「★」は、この４年間で重点的に取り組んでいく「校区版チャレンジ事業」です。

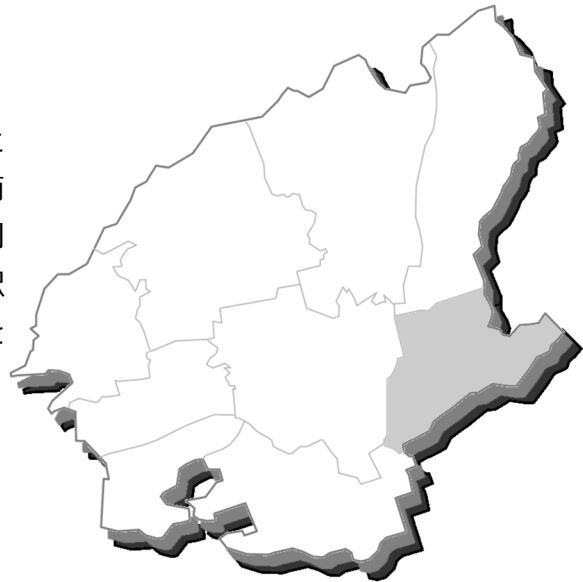
校区のめざす姿	そのために、地域でできること
1 地域活動の担い手が循環する 旭丘	○退職世代、若い世代に照準を合わせた担い手の育成を行います。特に「女性の力」を地域活動に活かせる仕組みを検討します。 ・情報交換や多世代交流を行う機会や場を設けます。
	★親と子どもが一緒に参加できるボランティア活動の内容の見直しや機会の充実を図り、担い手の育成につなげます。
	★ふれあい運動会に協力する人を継続的な地域活動につなげます。 ・ふれあい運動会の運営に係る負担軽減を図ります。
2 隣近所の“つながり”から“地域活動への参加”につなげる 旭丘	★「〇〇の人限定」等、世代やターゲットをしばった企画の立案をすることで、より趣味、興味に即した地域行事・イベントを実施します。
	○転入者に向けた地域活動への説明会等を行い、参加の呼びかけを充実します。 ・転入者を好意的に受け入れる等、転入者が地域活動に参加しやすい環境づくりを行います。
	○住民が集うことができる場所として公民館、集会所等を活用した三世代交流を促進します。
3 高齢者を見守り、支え合える安心・安全な旭丘	○回覧板を利用し、隣近所の人が一人生らし高齢者を見守る体制をつくります。 ・民生委員・児童委員、自主防災会等が連携し、支援を必要とする人を見守ります。
	○シニアクラブでボランティア活動を行うなど、活動の充実を図ります。
	★高齢者の元気づくり・健康づくりに向けた指導を充実します。 ・自治会・町内会や健康づくり団体、公民館等と連携します。

9 三郷小学校区



小学校区の概況

三郷小学校区は、市の東部に位置し、瀬戸市と接しています。名鉄瀬戸線三郷駅前には大型商業施設が立地しており、その交通・買い物の利便性の高さから、市内にある名鉄瀬戸線の各駅の中で最も乗降者数の多い駅としてにぎわいを創出しています。



■三郷小学校区の総人口等の推移

	平成 27 年	令和 2 年
総人口	9,606 人	9,808 人
高齢化率	20.5 %	24.1 %
年少人口割合	13.2 %	12.8 %

資料：平成 27 年…住民基本台帳（6 月 1 日現在）、令和 2 年…住民基本台帳（3 月 31 日現在）

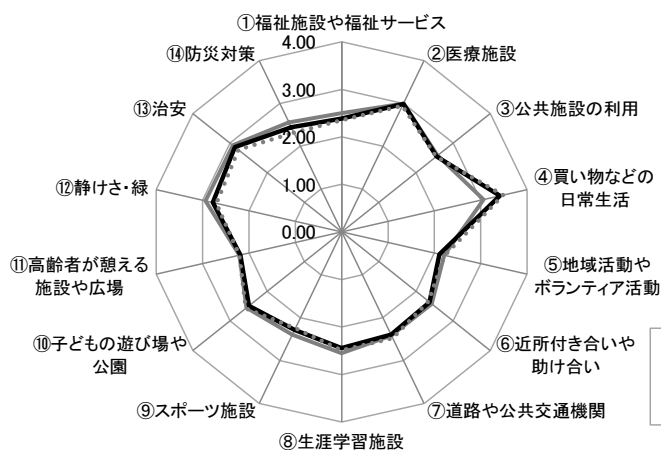


現状と課題



アンケート調査結果からみる現状

- 市全体より満足度がやや低い分野が多くなっています。
- 項目でみると、「④買い物などの日常生活」が市全体の中で最高得点となっている一方で、「①福祉施設や福祉サービス」「⑨スポーツ施設」「⑫静けさ・緑」「⑬治安」「⑭防災対策」は市全体の中で最も低い得点となっています。
- 平成 28 年と比較すると、「⑭防災対策」等で得点が増加している一方で、「⑤地域活動やボランティア活動」等で減少しています。



※設問の 4 つの選択肢を次のように点数化しています。「不明・無回答」を除く回答件数で除した、加重平均で平均値を算出しました。

区分	点数
そう思う	4
どちらかといえばそう思う	3
あまりそうは思わない	2
まったく思わない	1

— 市全体
— 三郷小学校区 (R2)
..... 三郷小学校区 (H28)



これまでの取り組みの状況

前回計画で定めた「校区のめざす姿」を達成するための、「そのために、地域でできること」の取り組みの状況は以下のとおりです。「★」は、前回計画で重点的に取り組んできた事業です。

校区のめざす姿 1

『町内会をひとつの家族に！地域のつながりが深い 三郷』

■これまでの取り組みの状況

そのために、地域でできること		取り組みの状況
★地域の集会所の有効活用が図れるよう、集会所を整備するボランティアを募集します。	⇒	○町内会の会合・懇談会、防犯パトロールの拠点として使用し、管理は町内会長が主となり町内会（専門職除く）で行っている。 ○イベントができる場所ではないため、あらためて整備する必要はない。
★スポーツを通じた多世代交流を促進します。	⇒	○グラウンドゴルフ大会（シニアクラブ、子ども会）や区民運動会（町内会、シニアクラブ、子ども会、小学校）、ふれあいウォーキング（親子、友達、老若男女）、ソフトボール大会（町内会選抜対抗）等を実施。 ○子どもを持つ親世代が忙しいため、行事への参加に消極的になっている。
○近所でのあいさつを通して風通しのよい地域づくりを行い、イベントへの参加を呼びかけます。	⇒	○ごみゼロ運動、地域防犯パトロール、防災訓練、盆踊り大会、敬老呈茶会、敬老コミュニティ、どんど焼き、書初め大会、スクールガード、青少年健全育成あいさつ運動等を実施した。

■校区懇談会からの意見

感染症対策を講じて地域活動をどのように行うか話し合いをしています。



イベントの周知を行い、参加者を増やす必要があります。

地域活動やボランティア活動の担い手を確保することが課題です。



地域行事の運営マニュアルを作成するのはどうでしょうか。

校区のめざす姿 2

『負担が少なく、楽しく地域活動を進められる 三郷』

■これまでの取り組みの状況

そのために、地域でできること		取り組みの状況
★地域活動の担い手の発掘のため、地域における世話好きな人などの情報収集を行います。	⇒	○自治会委員経験者、退職者、自営業経営者、学校 P T A 経験者、女性等をターゲットとして地域活動への参加を呼びかけたが困難だった。特に若者が少ない。
★任期や役割分担を明確にし、役員の負担の軽減を図ります。	⇒	○役員が回ってくることで各団体から離脱するケースがみられる。
○地域行事やイベントに協力してもらうボランティアを募集し、参加してくれる人のなかから、継続的に取り組んでもらえる人を育成します。	⇒	○会則、規約、ローテーション制等により、各行事とも任期や役割を明確にしている。
		○町内会毎にスポーツ委員、P T A 役員、自治会経験者等の継続的依頼を実施している。
		○三郷小学校では児童に打ちはやし育成をしている。

校区のめざす姿 3

『思い出ができる 魅力的な地域活動のある 三郷』

■これまでの取り組みの状況

そのために、地域でできること		取り組みの状況
★地域住民に地域行事・イベントに関するアンケートを実施し、ニーズを把握します。	⇒	○地域行事ごとに反省会を開催して問題点や改良点を検討している。
★フリーマーケットなどの親子で参加できる地域行事・イベントを開催します。	⇒	○自主防災資料づくりのためには、各戸アンケートを実施した。
○地域ごとに参加人数を決めるなど、イベントへの参加の呼びかけを強化します。	⇒	○区民運動会、ふれあいウォーキング大会を実施している。
		○親子参加フリーマーケットの当地域での開催は疑問がある。
		○イベントごとに参加人数の割当を実施している。

■校区懇談会からの意見

親子で参加できる行事や活動があれば参加したいです。



ふれあいウォーキングはコミュニケーションを取る場になっています。



校区別計画

三郷小学校区の校区別計画は以下のとおりです。「★」は、この４年間で重点的に取り組んでいく「校区版チャレンジ事業」です。

校区のめざす姿	そのために、地域でできること
1 町内会をひとつの家族に！地域のつながりが深い 三郷	★公共施設の有効利用を図り、多世代交流の場とします。 ・自治会・町内会等関係団体と連携を図ります。
	○誰でも参加できるスポーツを通じた多世代交流や開催に関する情報発信を行います。 ・PTA等の関係団体と連携し、若い世代の参加につなげます。
	★近所でのあいさつを通して風通しのよい地域づくりを行い、イベントへの参加を呼びかけるとともに、現在実施している活動と連携した仕組みを考えます。 ・小・中学校のあいさつ運動を地域全体へ広げます。
2 負担が少なく、楽しく地域活動を進められる 三郷	★地域活動の担い手の発掘のため、地域活動の周知や、地域における世話好きな人等の情報収集を行います。 ・地域活動の内容の適宜見直しや経験・資格をもつ人材の発掘等を行います。
	★任期や役割分担を明確にし、役員の負担の軽減を図ります。 ・役員以外の関わりを呼びかけ、負担の軽減を図ります。
	○地域行事やイベントに協力してもらうボランティアを募集し、参加してくれる人の中から、継続的に取り組んでもらえる人を育成します。 ・運営方法の継承やマニュアル化を行います。
3 思い出ができる 魅力的な地域活動のある 三郷	○地域住民に地域行事・イベントに関するアンケートを実施し、ニーズを把握します。 ・地域行事やイベントの実施方法について適宜見直しを行います。
	○区民運動会、ふれあいウォーキング大会、防災訓練等の親子で参加できる地域行事・イベントを開催します。 ・瀬戸川や三郷川の清掃活動を行います。
	○イベントへの参加ルールや内容について適宜見直しを行うとともに、参加の呼びかけを強化します。 ・学校と連携し、児童・生徒のイベントへの参加を促します。



校区別アクションプラン 令和4～7年度

発行：尾張旭市／社会福祉法人 尾張旭市社会福祉協議会

編集：尾張旭市 健康福祉部 福祉政策課

〒488-8666 尾張旭市東大道町原田2600番地1

TEL:0561(76)8184 FAX:0561(52)3749

ホームページアドレス <https://www.city.owariasahi.lg.jp/>

社会福祉法人 尾張旭市社会福祉協議会

〒488-0074 尾張旭市新居町明才切57番地

TEL:0561(54)4540 FAX:0561(51)1880

ホームページアドレス <http://www.owariasahishakyo.jp/>